

平成25年度第7回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成25年10月15日（火）10時00分～11時30分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	岡本 哲夫
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携・研究推進センター長	松添 直隆
学術情報センター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
熊本県公立高等学校長会会長	中西 眞也
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子
アドバンス：文学研究科長	村里 好俊
アドミニストレーション研究科長	明石 照久

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、前田地域連携・研究推進センター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長、企画調整室山田参事

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成26年度入学者選抜における合格者の決定について

1) 環境共生学部居住環境学科 自己推薦型入試

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「環境共生学部居住環境学科自己推薦型入試については、10月5日に試験を実施した。募集人員は4名。配点はプレゼンテーション及び質疑応答を含む面接で100点。志願者は17名で県内9名、県外8名、男性8名、女性9名。志願者のうち16名が受験した。」との説明があり、続けて、堤環境共生学部長から、資料1-2に基づき、「上位4名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 大学院文学研究科（秋季募集）入試

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「文学研究科秋季募集入試については、日本語日本文学専攻、英語英米文学専攻ともに、9月28日に実施した。日本語日本文学専攻博士前期課程について、募集人員は、秋季募集3名。志願者3名、受験者2名。志願者の選抜区分は、全員が一般選抜。英語英米文学専攻博士前期課程について、募集人員は、秋季募集3名。志願者1名、受験者1名。志願者の選抜区分は、一般選抜。英語英米文学専攻博士後期課程について、募集人員は、秋季募集1名。志願者1名、受験者1名。」との説明があり、続けて村里文学研究科長から、資料2-2に基づき、「日本語日本文学専攻博士前期課程の一般選抜は、受験者2名が総得点の6割以上であり、2名とも合格としたい。英語英米文学専攻博士前期課程の一般選抜は、受験者1名が総得点の6割以上であり、合格としたい。英語英米文学専攻博士後期課程については、受験者1名が総得点の6割以上であり、合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 大学院アドミニストレーション研究科（秋季募集）入試

事務局教務入試課から、資料3-1に基づき、「アドミニストレーション研究科（博士前期課程）秋季募集入試について、9月28日に実施した。募集人員は秋季・春季合わせて20名。4名が志願し、受験。志願者の内訳は、一般選抜が志願者1名、社会人特別選抜が3名。」との説明があり、続けて、明石アドミニストレーション研究科長から、資料3-2に基づき、「博士前期課程の一般選抜受験の1名については、基準の6割を超えていたので合格としたい。博士前期課程の社会人特別選抜については、受験者3名については基準の6割を超えていたので合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 教員の採用について

事務局総務課から、資料4-1に基づきこれまでの審査の経緯等について説明があった。

1) 社会言語学・方言学

山田文学部長から、資料4-3に基づき、「社会言語学・方言学採用人事について、公募に対して11名の応募があった。うち書類不備、審査資格がないものを除いた10名について、文学部内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成26年4月1日付けで講師として、採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「社会言語学・方言学の採用予定者は、講師での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 韓国語・異文化コミュニケーション論

山田文学部長から、資料4-4に基づき、「韓国語・異文化コミュニケーション論採用人事について、公募に対して102名の応募があった。うち書類不備、審査資格がないものを除いた90名について、文学部内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成26年4月1日付けで講師として、採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「韓国語・異文化コミュニケーション論の採用予定者は、講師での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 建築設計・住空間計画学

堤環境共生学部長から、資料4-5に基づき、「建築設計・住空間計画学採用人事について、公募に対して16名の応募があった。環境共生学部内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成26年4月1日付けで准教授として、採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「建築設計・住空間計画学の採用予定者は、准教授での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4) 看護学

松尾総合管理学部長から、資料4-6に基づき、「看護学採用人事について、再公募に対して4名の応募があった。総合管理学部内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成26年4月1日付けで准教授として、採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「看護学の採用予定者は、准教授での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 公立大学法人熊本県立大学業務実績評価について

事務局企画調整室から、資料5に基づき、熊本県公立大学法人評価委員会から通知があった「平成24年度公立大学法人熊本県立大学業務実績評価書」について、「大学の教育研究の質の向上」部分を中心に報告があった。

② 次期学長の選考結果について

事務局企画調整室から、資料6に基づき、「熊本県立大学の現学長の任期が平成26年3月31日をもって満了するため、学長選考会議において審議を重ね選考の結果、現学長を再任で次期学長として選考した。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成25年度第8回 11月25日(月) 午後1時～本部棟2階大会議室

5 閉会